

第15章 都留市中学生の生活意識とまちイメージ

社会調査・地域調査B 「人・夢・子ども」班

メンバー：越賀貴子 齋藤峻介 佐藤秀幸 佐藤麻衣子 清水健志 志茂龍太

15.1 問題意識と調査活動の経緯

「人・夢・子ども班」では、私たち文大生の都留市に対するイメージ（まちイメージ）に構想のヒントを得て、私たちより居住年数の長い地元の中学生の都留市に対するイメージはどのようなものかという問題関心からこの調査を始めた。その手がかりとして、1998年にベネッセコーポレーションによって行われた「都市の中学生・山村の中学生——地域差や学校差を考える, 1988」¹という調査による結果を参照しながら、比較調査の実施計画を立てた。この調査は全国の中学生の平均的なデータとしてみることができるので²、都留市の中学生と全国の中学生の意識を比較することが可能だと考えた。都留市の中学生のデータに関して、「人・夢・子ども班」では、都留市立都留第二中学校2年生の方たちに協力を得て調査票調査「都留市内中学生の生活意識と街イメージに関する調査」を実施した。

15.2 調査課題

中学生は都留市に対しどんなイメージをもっているのか、また、全国の中学生との意識の差はどうなっているのかということを調査票データによって明らかにしていく。

15.3 実施方法

- 調査対象： 都留市立都留第二中学校の2年生全員
- 調査方法： 自記式による調査票調査
- 調査主体： 都留文科大学社会学科「社会調査・地域調査B」人・夢・子ども班
- 調査項目： まちに対する好悪、永住志向、まちに対するイメージ、市内施設（交通の便、医療施設、買い物施設、スポーツ施設など）に対する満足度、市外への外出頻度とその目的、居住希望（都留・東京比較）、生活体験および家事体験（12項目）の頻度、将来に対する見通し、基本属性（性別、居住年数、きょうだいの数、祖父母との同居経験）

対象者の選定方法： 都留市立都留第二中学校に在籍する2年生のうち、調査実施日の出席者全員を対象者とした。

実施方法： 集合調査法（授業終了後のホームルームの時間に調査員が各教室を訪問して調査票を配布し、その場で記入を求めて回収作業を行った。一部のクラスについては、同時間内でクラス担当教諭に配布・回収作業を委託した）

¹ 「モノグラフ・中学生の世界 vol.60 都市の中学生・山村の中学生——地域差や学校差を考える」（調査実施者：ベネッセコーポレーション、1998年2月～3月実施、調査対象：秋田・東京・静岡・島根・九州の中学1～3年生の男女、サンプル数2,086）

² 標本抽出については、「最終的に1)九州の島にある学校、2)日本海側の伝統的な小都市近郊の学校、3)静岡県下の太平洋に面した学校、4)東京のいかにも下町らしい地域の学校、5)東京のニュータウンにある教育熱心な地域の学校、6)東北の古くから町にある学校の6校の協力を得て実施した」と記されている（ベネッセ教育研究所編、1998）。

実施時期： 2005 年 2 月 3 日
 回収結果： 配布数 158 票
 回収票 158 票（回収率 100 %）
 無効票 0 票
 有効票 158 票

15.4 調査結果の分析

回答者の属性

回答者の男女構成は、男 51.3%、女 48.7%の内訳となっている。祖父母といっしょに住んでいる、または住んだ経験があるかに関しては同居が 71.5%、別居が 28.5%となっている。きょうだいの人数構成は、1 人っ子が 6.3%、2 人きょうだいが 45.6%、3 人きょうだい以上が 48.1%の内訳となっている。都留市内での居住年数でみると、13～15 年（出生以来、市内に居住）が 135 人で 85.5 %を占め、12 年以下（市外からの転入者）は 21 人で 13.3 %である。

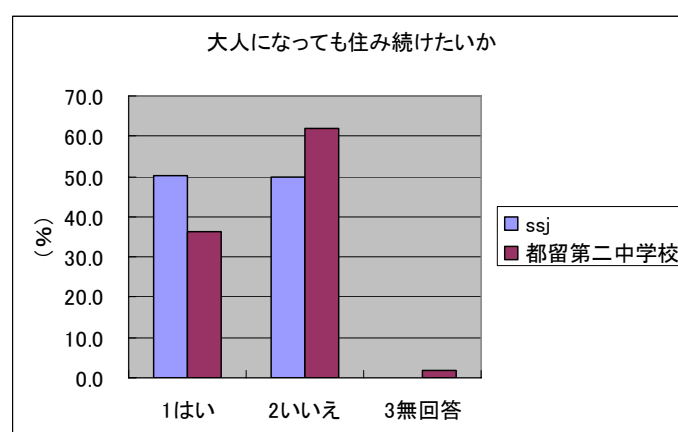
まちに対する好感度

まず、今自分が住んでいる街が好きかどうかという回答を、SSJ（ベネッセ調査）³の結果と比較してみたいと思う⁴。

	ssj	都留第二中学校
1好きだ	79.4	79.7
2あまり好きでない	20.6	20.3

上の表から都留二中の生徒と全国の中学生のあいだにほぼ差がないことがわかった。筆者らにとって予想どおりの結果ではあるが、ここまで差がないことは驚きである。

次に、大人になっても住み続けたいかという質問への回答結果について比較してみたいと思う。



こちらについても都留二中の生徒と全国の中学生のあいだに大きな差はないと思っていたが、予想と

³ 以下、「SSJ」とはベネッセ調査（注1）を指す意で用いる。

⁴ 本調査において、ベネッセ調査によるデータとの比較を試みた設問に関しては、同調査該当設問と同一の質問文と選択肢を用いている。

異なる結果になった。ベネッセ調査によると、全国の中学生のうち 50.1%が「住み続けたい」と答えたのに対して、都留二中の場合では 36.1%だった。今回のアンケートのなかに都留市の公共交通機関の満足度に対する質問があるが、約 6 割の生徒が公共交通機関に不満を持っているという結果になっている。公共交通機関に対する不満度がすべてこの結果に影響しているというわけではないが、多少なりとは関連があると思われる。ちなみに、Q11 の「都留市のような街と東京のような大都市どちらに住みたいか」という質問では、若干ではあるが都留市に住みたいと答えた生徒のほうが多かった（「都留市のような街」 41.8 %、「東京のような大都市」 34.8 %）。

まちに対する好き嫌いと市内での居住年数をクロス集計すると次の表に示される。

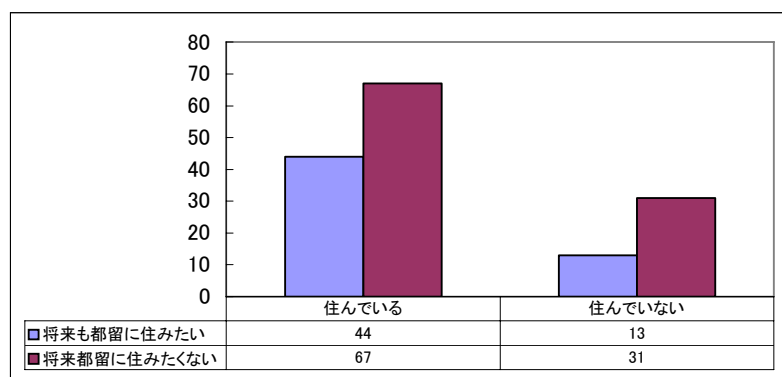
表 「都留が好きか嫌いか」と「居住年数」のクロス表							
Q15							
Q1	5年以下		6年以上10年以下		11年以上		総計
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	
はい	3	2.4	7	5.6	116	92.1	126
いいえ	1	3.1	5	15.6	26	81.3	32
総計	4	2.5	12	7.6	142	89.9	158

表 将来も都留に住みたいかと居住年数のクロス表							
(年)	はい		いいえ		無回答		総計
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	
1		0.0	1	100.0		0.00	1
2		0.0	1	100.0		0.00	1
4		0.0	1	100.0		0.00	1
5		0.0	1	100.0		0.00	1
6		0.0	2	100.0		0.00	2
8		0.0	3	100.0		0.00	3
9	1	33.3	2	66.7		0.00	3
10	1	25.0	3	75.0		0.00	4
11	2	66.7	1	33.3		0.00	3
12		0.0	2	100.0		0.00	2
13	8	53.3	7	46.7		0.00	15
14	42	35.9	72	61.5	3	2.56	117
15	2	66.7	1	33.3		0.00	3
無回答	1	50.0	1	50.0			2
総計	57		98		3		158

「将来も都留に住みたいか」という設問と市内での居住年数とのクロスでは、居住年数が 14 年の生徒の 61.5 %が将来も住むことに「いいえ」と回答している。

次に、「将来も都留市に住みたいか」への回答と祖父母との同居・別居とをクロス集計してみた。都留文科大学生に対する調査⁵では、将来「都留市に住みたいとは思わない」が多数を占めたが (63.7 %)、長年、都留のまちに住み続けてきた中学生はどう思っているのか、そして、祖父母との同居・別居によって結果が変わってくるのかの点に注目したい。

⁵ 「文大生の学生生活と意識に関する調査」(本報告書第 16 章)



祖父母との同居経験と「将来も都留に住みたいですか」のクロス表

			「将来も都留に住みたい ですか」		合計
			はい	いいえ	
祖父母と の同居経 験	はい	度数	44	67	111
		祖父母との同居経験 の %	39.6%	60.4%	100.0%
	いいえ	度数	13	31	44
		祖父母との同居経験 の %	29.5%	70.5%	100.0%
合計		度数	57	98	155
		祖父母との同居経験 の %	36.8%	63.2%	100.0%

まず、「将来も都留に住みたいか」という点に関しては、都留文科大学生の結果よりも「住みたい」と考えている人が多いようだ。次に注目したいのは、祖父母と同居している対象者の永住志向だ。「将来も都留に住みたい」と回答したのは、祖父母との同居者で 39.6%、同居していない対象者で 29.5%であり、永住志向は祖父母との同居者のほうが約 10 ポイント上回っている。やはり、「祖父母とは、これまでずっといっしょに暮らしてきた家族なのだから、将来もいっしょに住んでいきたい」という考えからであろうか。筆者の個人的な印象によると、昨今の風潮として、祖父母のような大事な存在から距離を置こうと考える人が増えているように思っていた。それをくつがえすようなこの結果に、筆者としては少し嬉しい気持ちになった。

都留のまちに対する好き嫌い、祖父母との同居経験との関係はどうだろうか。

表 都留のまちが好きかと祖父母との同居経験のクロス表

Q1	はい		いいえ		総計
	度数	比率	度数	比率	
スキ	94	74.6	32	25.4	126
嫌い	19	59.4	13	40.6	32
総計	113		45		158

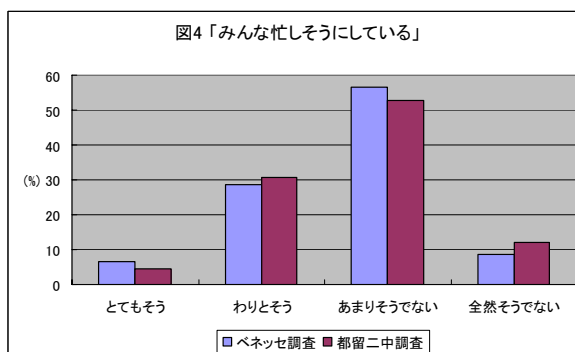
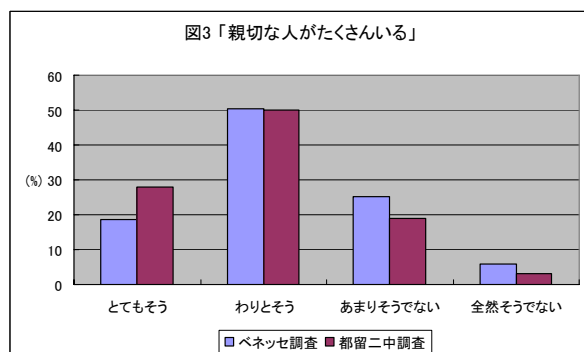
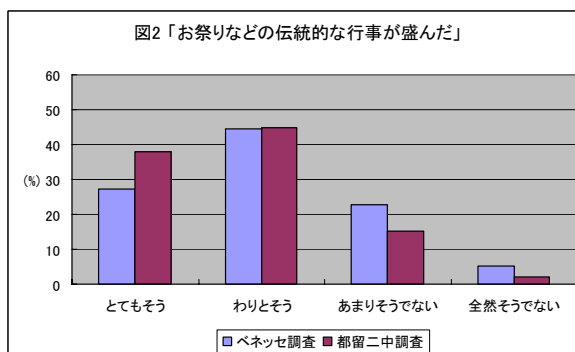
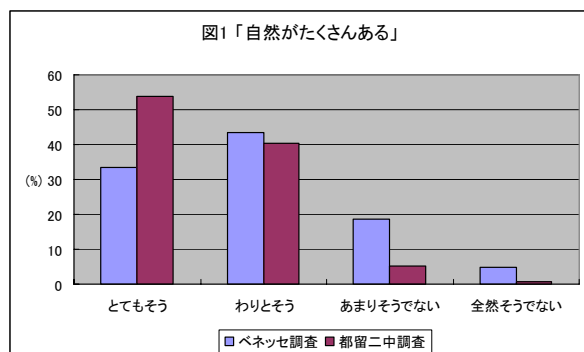
祖父母との同居経験と「都留の街が好きですか」のクロス表

			「都留の街が好きですか」		合計
			好きだ	あまり好きではない	
祖父母との同居経験	はい	度数	94	19	113
		祖父母との同居経験 の %	83.2%	16.8%	100.0%
	いいえ	度数	32	13	45
		祖父母との同居経験 の %	71.1%	28.9%	100.0%
合計		度数	126	32	158
		祖父母との同居経験 の %	79.7%	20.3%	100.0%

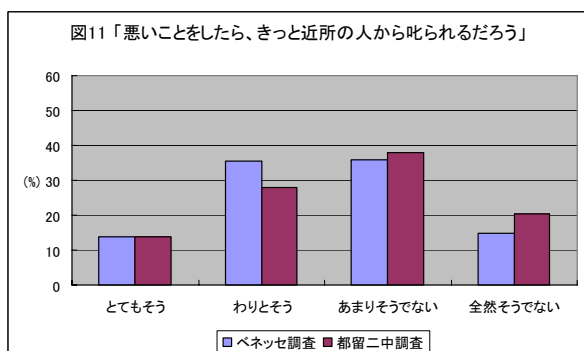
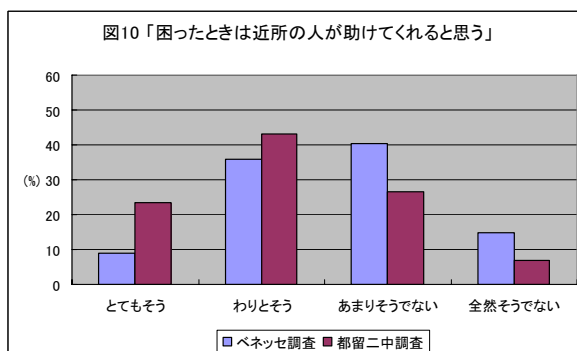
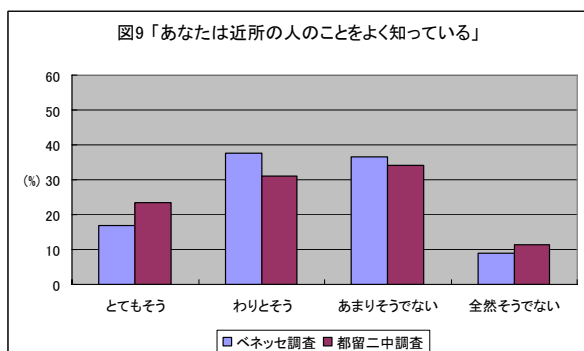
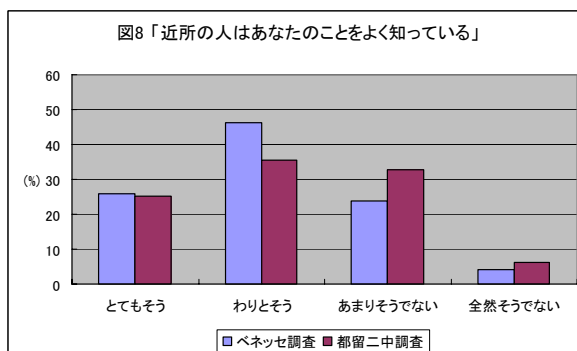
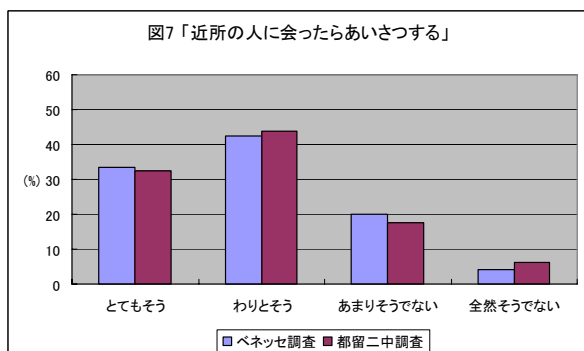
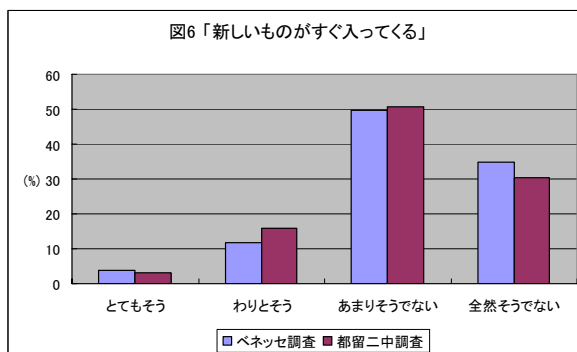
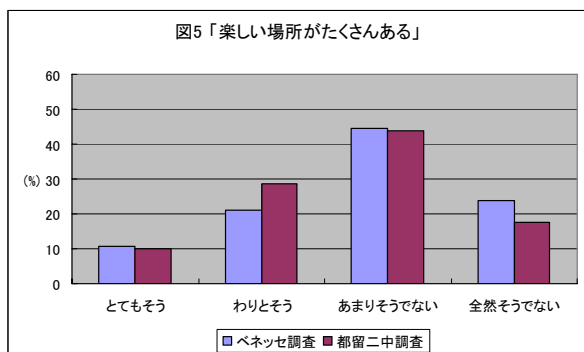
都留のまちのことを「好きだ」と答えた人は158人中126人（79.7％）と圧倒的に多かった。そのなかで、祖父母との同居経験がある人は74.6％だった。そのような中学生は、昔から都留のまちを知っている祖父母に都留のよいところを聞きながら育った可能性があると思う。また、都留のまちが「あまり好きではない」と答えた人の59.4％が祖父母との同居経験があることから、同様に、まちに欠けていると思われることがらを聞きながら育った人もいると思う。いずれにしても、都留のまちは、全体的にみれば、好感をもたれているということがわかった。

まちに対するイメージ

Q3では「あなたの住んでいる『まち』はどんなところですか」の質問文により、11項目からなる「まちイメージ」について、「とてもそう」「わりとそう」「あまりそうではない」「全然そうではない」の4選択肢で質問している。各項目に対する回答結果を集計したものが、次の図1～11である。これらのグラフでは同一の質問文と選択肢によるベネッセ調査の回答結果との比較を試みた。同調査は1都4県（秋田・東京・静岡・島根・九州）の、多様な地域環境を代表する中学校6校の1～3年生男女を対象としているので⁶、そのデータは全国の中学生の平均的な傾向を表していると考えられる。

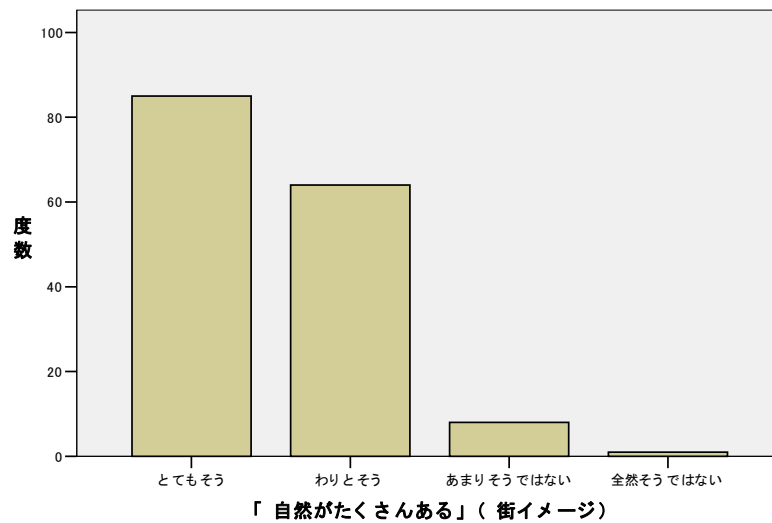


⁶ 注1および注2参照。



都留市には「自然がたくさんある」というイメージについては、「とてもそう」と「わりとそう」を合計すると 94.3 %である（次頁図）。

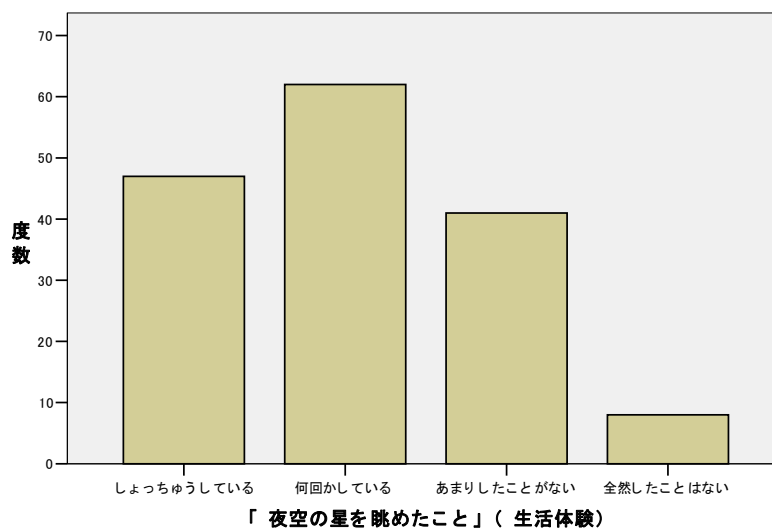
「自然がたくさんある」(街イメージ)



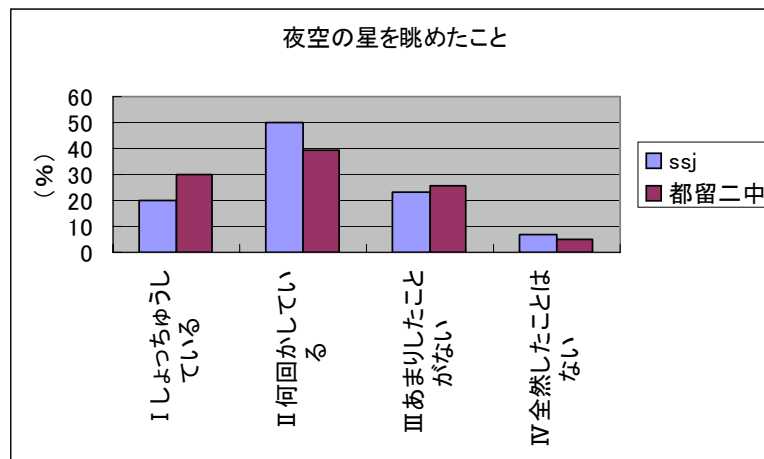
これは、調査を行なったわれわれ調査班メンバー自身とも同様の意識である。しかし、なかにはそう感じていない生徒もあり、5.7%がその比率である。

しかしながら、これだけ多くの比率で都留市には「自然がたくさんある」という回答があるのに対し、「夜空の星をながめたこと」という生活体験の有無となると、その比率は多少異なってくる。次のグラフがその結果である。

「夜空の星を眺めたこと」(生活体験)

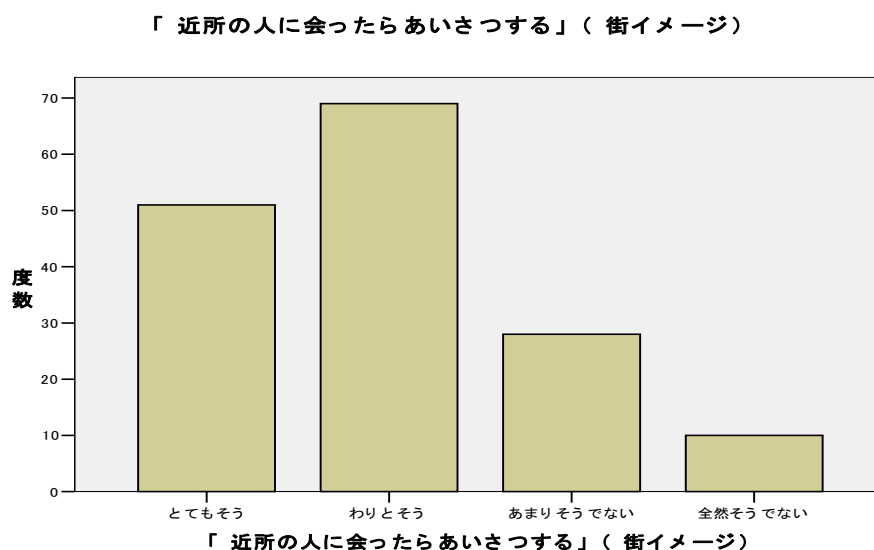


「しょっちゅうしている」が29.7%で、「何回かしている」が39.2%と、「夜空の星を眺めている」のは約7割である。また、「全然したことがない」も5.1%いる。このデータをベネッセ調査の結果と比較してみよう。



ベネッセ調査のデータでも、「しょっちゅうしている」と「何回かしている」を合計した比率は 69.6 % と約 7 割で、都留二中調査の結果とほぼ同じである。ただし、「しょっちゅうしている」の比率は、都留二中調査のほうが高い。また「全然したことがない」はベネッセ調査に対してわずかに低い比率である。都留二中の中学生は、全国平均よりも「夜空の星を眺める」経験の比率が総じて高いといえる。しかし、94.3 % もの比率で「自然がたくさんある」という回答が得られたに対して、「星を眺める」経験の比率は、その水準にはおよばない。これは、都留二中の中学生たちが、都留の星空に魅せられることの多いわれわれ文大生とは異なった視点で都留市の自然環境というものを捉えているからだろうか。私たち調査班メンバーは夜空の星を含めて、それを「都留市の自然」の一部と考えていたが、都留第二中学校の生徒は、「自然」についてそのようにはイメージしていなかったのかもしれない。

次に、「近所の人」との関係性についてみてみよう。Q3-7 の「近所の人に出会ったらあいさつする」の回答結果は次のとおりである。



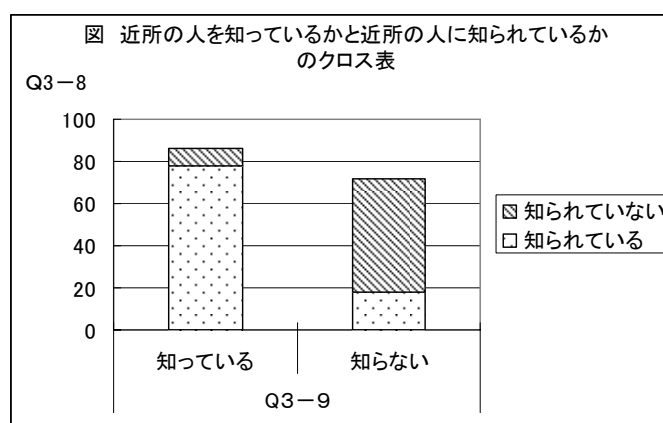
「とてもそう」と「わりとそう」を合計した約 76 % が、近所の人とあいさつを通じた交流を日常的にもっていることがわかった。都会においては、近所関係が希薄で、互いの顔すら知らないこ

ともあるというが、約 8 割の生徒が近所の人と何らかの関わりをもって生活していることが伺える。また、われわれ調査班メンバーが調査のために都留第二中学校を訪れた際も、しばしば生徒のほうから気持ちの良いあいさつをかけられたことが印象的であった。

Q3-8 の「近所の人あなたのことをよく知っている」と Q3-9 の「あなたは近所の人あなたのことをよく知っている」をクロス集計してみたものが次の図表である。

表 近所の人を知っているかと近所の人に知られているかのクロス表

	Q3－9				
Q3－8	知っている		知らない		総計
	度数	比率	度数	比率	
知られている	78	81.3	18	18.8	96
知られていない	8	12.9	54	87.1	62
総計	86	54.4	72	45.6	158



2 つの質問への回答から、「お互いに知っている関係」に該当する対象者が 81.3%、「お互いに知らない関係」に該当する対象者が 87.1%と全体的に多かった。これは自然に予想された結果であるが、近所の人と互いに知り合いでない人の比率は想像以上に高かった。

次に、「親切な人がたくさんいる」(Q3-3)と「悪いことをしたら、きっと近所の人から叱られるだろう」(Q3-11)とをクロスさせてみよう(次頁クロス表)。ここでは「とてもそう」「わりとそう」「あまりそうでない」「全然そうでない」の 4 選択肢のうち、「とてもそう」と「わりとそう」の回答を合計して「そう(思う)」とし、「あまりそうでない」と「全然そうでない」の回答を合計して「そうでない」として集計することにする。「親切な人がたくさんいる」(Q3-3)に対して「そう(思う)」と答えた人が 158 人中 123 人と、とても多かった。また、全体をみると、「悪いことをしたら、きっと近所の人から叱られるだろう」(Q3-11)に対して「そう(思う)」と答えたのは 41.8 %で過半数を割っている。

「親切な人がたくさんいる」に対して「そう(思う)」と答えた人のうち、43.9 %が「近所の人から叱られるだろう」に対して「そう(思う)」と答えている。いっぽう、「親切な人がたくさんいる」に対して「そうでない」と答えた人のうち、「近所の人から叱られるだろう」に対して「そう(思う)」と答えているのは 34.3 %である。

「親切な人がたくさんいる」(2分割)と「悪いことをしたら、きっと近所の人から叱られるだろう」(2分割) のクロス表

			「悪いことをしたら、きっと近所の人から叱られるだろう」(2分割)		合計
			そう(思う)	そうでない	
「親切な人がたくさんいる」(2分割)	そう(思う)	度数 「親切な人がたくさんいる」(2分割) の %	54 43.9%	69 56.1%	123 100.0%
	そうでない	度数 「親切な人がたくさんいる」(2分割) の %	12 34.3%	23 65.7%	35 100.0%
合計			66 41.8%	92 58.2%	158 100.0%

つまり、「親切な人がたくさんいる」と思っている人のほうが、より、「悪いことをしたら、きっと近所の人から叱られるだろう」と思っていることを示している。反対に、「親切な人がたくさんいる」とは思わない人は、「近所の人から叱られるだろう」とも思わない傾向にある。調査対象となった中学生たちが、それぞれ、叱られることを「親切」(叱ってくれる) とするか「ありがた迷惑」とするか、あるいはまた、それを相手の人の「怖さ」／「優しさ」とするかについては、解釈の分かれるところだが、対象者の多くは、叱ってくれることを親切心からだと理解しているのではないだろうか。

「親切な人がたくさんいる」(Q3-3) と、「困ったときは近所の人が助けてくれると思う」(Q3-10) とをクロス集計してみると次表のように示される。

「親切な人がたくさんいる」(2分割)と「困ったときは近所の人が助けてくれると思う」(2分割) のクロス表

			「困ったときは近所の人 が助けてくれると思う」(2 分割)		合計
			そう(思う)	そうでない	
「親切な人がたくさんいる」(2分割)	そう(思う)	度数 「親切な人がたくさんいる」(2分割) の %	93 75.6%	30 24.4%	123 100.0%
	そうでない	度数 「親切な人がたくさんいる」(2分割) の %	12 34.3%	23 65.7%	35 100.0%
合計			105 66.5%	53 33.5%	158 100.0%

全体をみると、66.5 %の人が「困ったときは近所の人が助けてくれる」と考えている。Q3-3 への回答別にみると、その比率は、「親切な人がたくさんいる」に対して「そう(思う)」と答えた人で75.6 %、「そうでない」と答えた人では34.3 %と、大きな開きが見られる。やはり、「親切な人がたくさんいる」と思う人は、いざというときに「近所の人が助けてくれる」と考える傾向がきわめて強い。

市内施設に対する満足度

都留二中の2年生たちの、市内の交通の便や医療・買い物・スポーツ施設に対する満足度を集計すると、以下の4表に示される。

交通の便（電車やバスなどの公共交通機関）

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 満足	13	8.2	8.2
2. やや満足	51	32.3	32.3
3. やや不満	54	34.2	34.2
4. 不満	40	25.3	25.3
総計	158	100.0	100.0

医療施設

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 満足	28	17.7	17.7
2. やや満足	71	44.9	44.9
3. やや不満	45	28.5	28.5
4. 不満	14	8.9	8.9
総計	158	100.0	100.0

買い物施設（商店、スーパー、コンビニエンス・ストアなど）

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 満足	34	21.5	21.5
2. やや満足	60	38.0	38.0
3. やや不満	45	28.5	28.5
4. 不満	19	12.0	12.0
総計	158	100.0	100.0

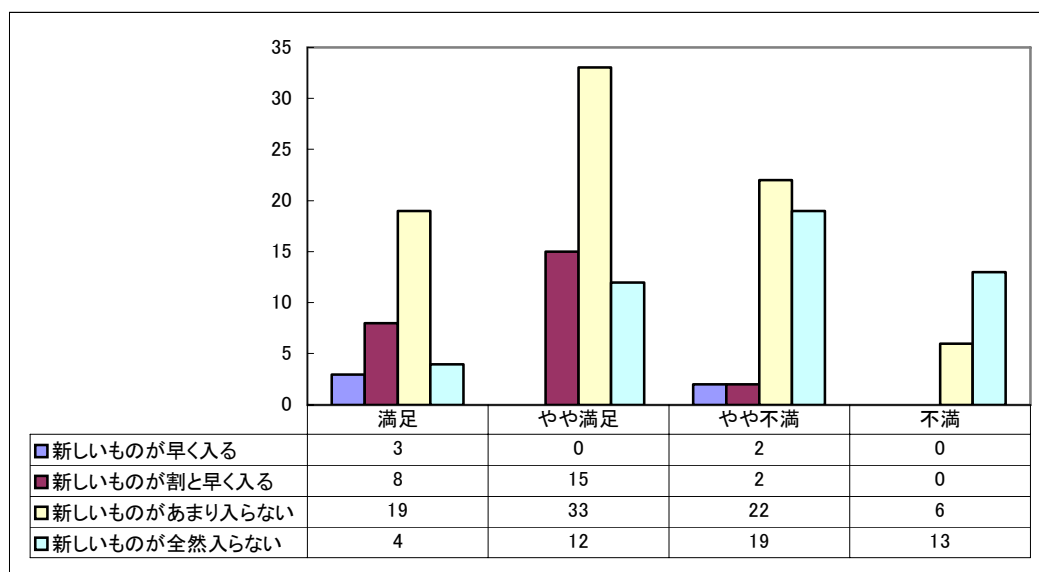
スポーツ施設（学校のグラウンドや体育館、楽山球場、市民体育館など）

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 満足	23	14.6	14.6
2. やや満足	62	39.2	39.2
3. やや不満	49	31.0	31.0
4. 不満	24	15.2	15.2
総計	158	100.0	100.0

次に、都留市内の買い物施設への満足度と、その買い物施設の新商品への対応の速さ⁷をクロス集計した結果をみていきたい。筆者自身の経験としては、文大入学を機に都留にはじめて来たとき、買い物施設があまり充実していないことに戸惑いを感じた。たしかに本屋やスーパーはあったが、CDレンタル・ショップや服飾衣料品店の数や品揃えには不満を覚えた。これは県外から来た学生のほとんどが思うことであろうと思う。筆者自身のこのような感想から、都留の中学生たちも同じような印象をもっているに違いないと思った。買い物施設にはあまり満足していないだろうし、「新しいものがすぐ入ってくる」とは考えていないだろうと思った。では集計結果を見てみよう⁸。

⁷ Q3-6「新しいものがすぐ入ってくる」（まちイメージ）への回答結果を、これに読み替えることにする。

⁸ Q3-6の質問文は、「あなたの住んでいる『まち』はどんなところですか。①～⑪の各項目について、それぞれあてはまるものに1つずつ○をつけてください。⑥『新しいものがすぐ入ってくる』である。次頁の表中の各カテゴリー名と本設問における選択肢との対応関係は、正確には次のとおりである。「新しいものが早く入る」「早く入る」＝「とてもそう」、「新しいものが割と早く入る」「わりと早い」＝「わりとそう」、「新しいものがあまり入らない」「やや遅い」＝「あまりそうではない」、「新しいものが全然入らない」「遅い」＝「全然そうでない」。



買い物施設と新商品の入荷のクロス表

	1. 満足		2. やや満足		3. やや不満		4. 不満		
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	総計
1. 早く入る	3	60.0	0	0.0	2	40.0	0	0.0	5
2. わりと早い	8	32.0	15	60.0	2	8.0	0	0.0	25
3. やや遅い	19	23.8	33	41.3	22	27.5	6	7.5	80
4. 遅い	4	8.3	12	25.0	19	39.6	13	27.1	48
総計	34		60		45		19		158

まず驚いたのは、市内の買い物施設に少なからず満足している人（「満足」と「やや満足」の合計）が、6 割弱（59.5 %）いたことである。都留の中学生たちにとっては現状の買い物施設は、おおむね満足に値するものであるようだ。私たち都留文科大学生は、都留の中学生たちからみれば、かなりのぜいたく者にうつっているのではないだろうか。しかし上のグラフを見ると、買い物施設に満足していると答えた人たちでも、新しい商品に関しては、入荷が遅いのではないかと考えるようだ。

たんに、新商品が早く店頭に並ぶということが、「買い物施設の充実」を意味しているわけではないようである。文大で学生生活を送っていると、「都留にはこういう店がない」とか「ああいう店が欲しい」などと、買い物施設に対する不満や願望の声をよく耳にする。しかし、発想を変えて、もっとうまく施設を利用すれば滞りなく買い物ができるのではないだろうか。

校外生活

校外生活に関する設問の回答結果を集計すると、以下の 4 表に示される。

市外への外出頻度

	集計	パーセント	有効パーセント
1. ほとんど毎日	3	1.9	1.9
2. 2, 3日に1回	22	13.9	13.9
3. 週に1回	86	54.4	54.4
4. 月に1回	37	23.4	23.4
5. めったにない	10	6.3	6.3
総計	158	100.0	100.0

市外への外出の目的

表 Q9 市外に出かける目的(すべて選択)

	度数	パーセント	ケースのパーセント
塾・習い事	18	6.4	11.6
部活の練習試合	47	16.7	30.3
ショッピング	117	41.6	75.5
ゲームセンター	21	7.5	13.5
友人に会うため	19	6.8	12.3
親戚に会うため	43	15.3	27.7
その他	16	5.7	10.3
合計	281	100.0	

大都市のにぎやかな場所に行く機会

Q10: 大都市に出かける頻度

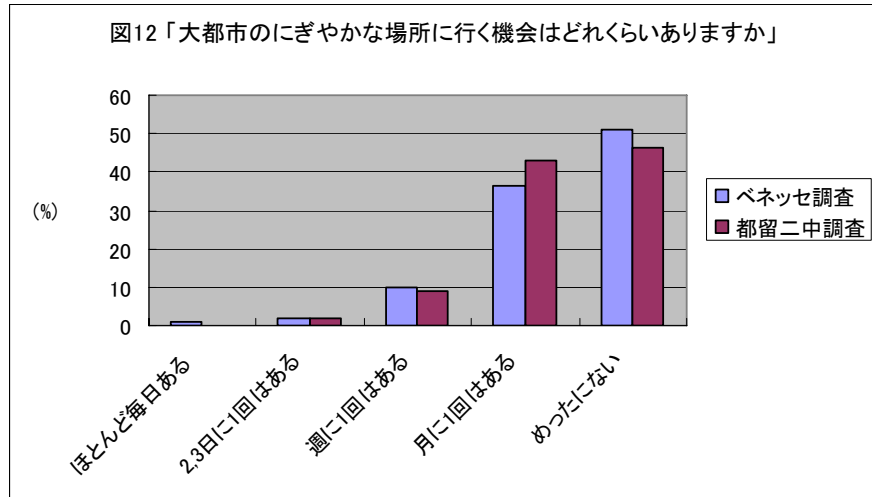
	合計	パーセント	有効パーセント
1. ほとんど毎日ある	0	0.0	0.0
2. 2,3日に1回はある	3	1.9	1.9
3. 週に1回はある	14	8.9	8.9
4. 月に1回はある	68	43.0	43.0
5. めったにない	73	46.2	46.2
総計	158		100.0

都留市のような街と東京のような大都市では、どちらに住みたいか

Q11: どちらに住みたいか

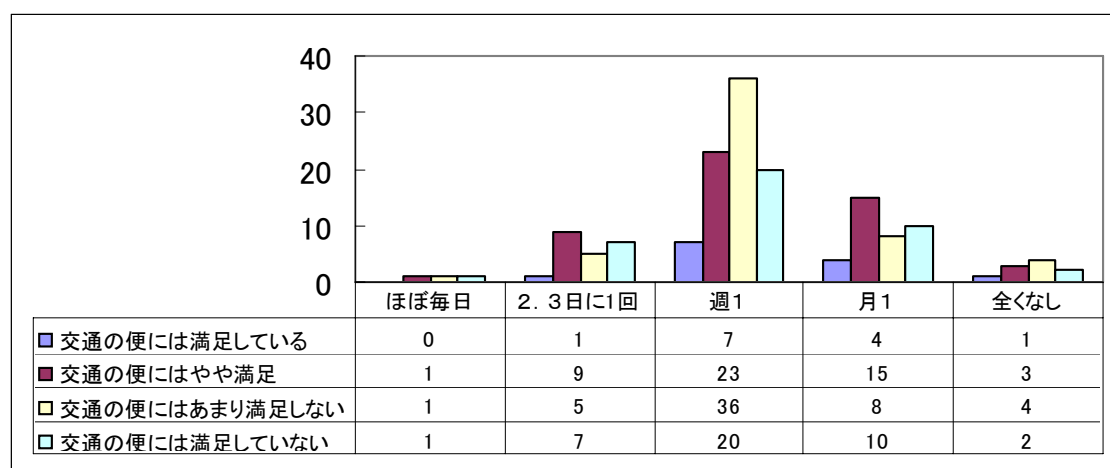
	合計	パーセント	有効パーセント
1. 都留市のような街	66	41.8	41.8
2. 東京のよう大都市	55	34.8	34.8
3. わからない	37	23.4	23.4
総計	158		100

このうち、「大都市のにぎやかな場所に行く機会」(Q10)の回答結果をベネッセ調査のデータと比較してみると次のようになる。



ほとんど同傾向であるが、都留二中のデータはベネッセ調査の1都4県6校データに対して、わずかに「月に1回はある」の比率が高く、「めったにない」では低い。

次に、市内の交通の便に対する満足度と、市外への外出頻度のクロス集計結果をみてみたい。筆者自身は都留に初めて来たときに交通の便があまりよくないように思えた。「国道」のわりには道路の道幅が狭い。「車社会」の地域であるためか、バスの本数が少なく、市内の移動に利用するには不便である。電車も通っているが、とても運賃が高いように思えた。電車を使うと、30分程度の乗車距離でも700円を超えるような場合もある。こうなると、市外に出ようにもなかなか行きづらいところがあるのではないだろうかと考えた。



交通の便と市外への外出のクロス表

	ほぼ毎日		2, 3日に1回		週1		月1		全くなし		
交通の便	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	度数	比率	総計
満足	0		1		7		4		1		13
やや満足	1		9		23		15		3		51
やや不満	1		5		36		8		4		54
不満	1		7		20		10		2		40
総計	3		22		86		37		10		158

上のクロス表を見ると、やはり、交通の便に不満を感じている人（「やや不満」と「不満」の合計）が約6割（59.5%）いる。

そういった不満を感じている人に限らず、全体的に市外への外出頻度は低いように思われる。前々頁の集計結果に示したように、市外の市外頻度は「週に1回」が54.4%と半数以上を占め、次いで「月に1回」の23.4%、「2,3日に1回」の13.9%と続く。これらのデータから単純に判断することはできないが、中学生たちの校外生活における行動範囲は、基本的に都留市内の生活圏におさまっているようである。

そういったなかで、市外への外出の目的のうち「ショッピング」がもっとも多く（回答総数に対して41.6%）、2位以下の「部活の練習試合」（16.7%）、「親戚に会うため」（15.3%）を大きく上回っている点が注目される。前項の集計結果によれば、われわれ大学生が不満に思いがちな市内の買い物施設に対して、中学生たちはそれほど不満には思わず、むしろ満足している人のほうが多い（「満足」と「やや満足」の合計が59.5%）のであった。この結果から考えると、市内の中学生たちは、買い物の

ためにわざわざ市外に出かける必要はなく、都留市内でことが足りると考えている人が多いのだろうか。この点を詳しく分析するために、Q9「その（市外外出）目的は何ですか」（7 選択肢について該当のものをすべて選択）のなかで、「3. ショッピング」への回答状況に着目してみよう。ここでは、「3. ショッピング」の選択肢に印のついた回答を「ショッピングのために市外に出かけることがある」、印のない回答を「ショッピングのために市外に出かけることはあまりない」と読み替えて、その回答結果を、市内の買い物施設に対する満足度（Q6）とクロス分析することにする。

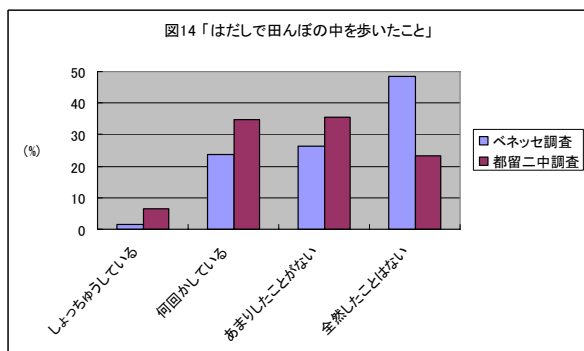
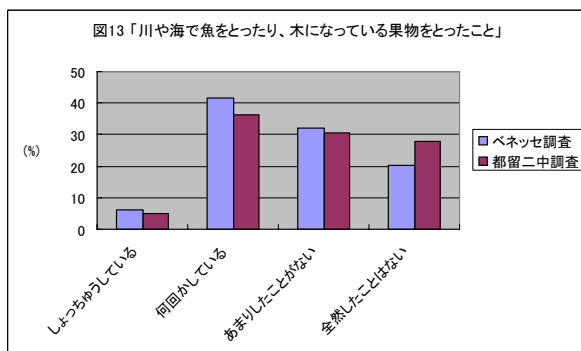
市内の買い物施設に対する満足度(2分割)と Q9-3(外出目的:ショッピング) のクロス表

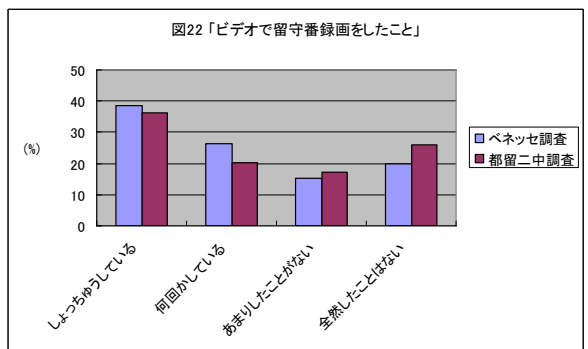
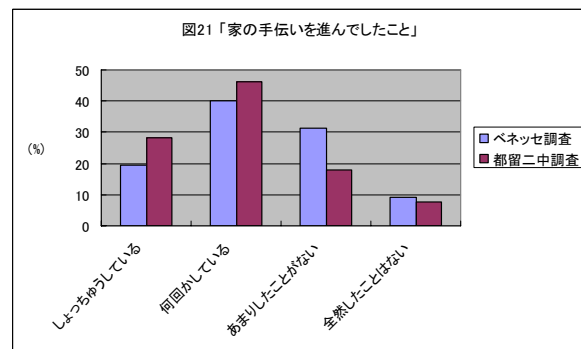
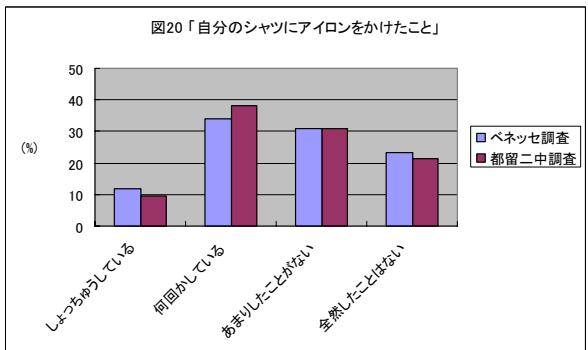
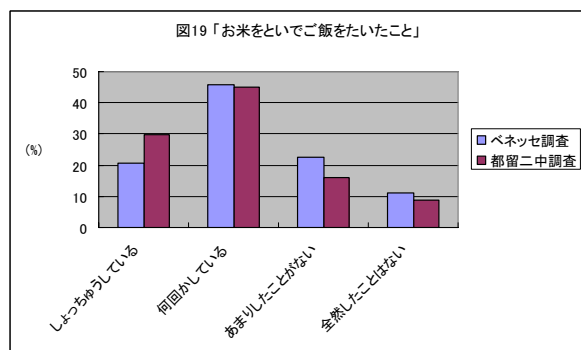
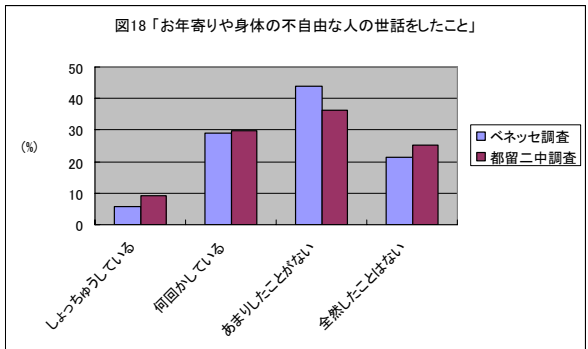
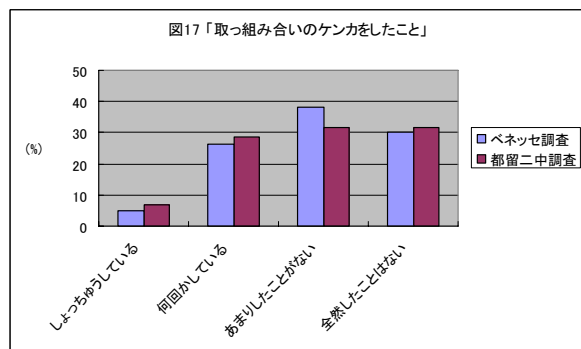
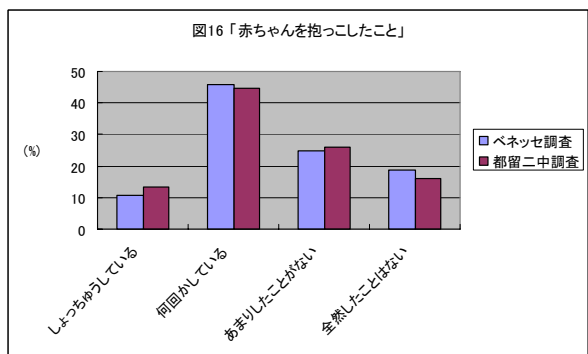
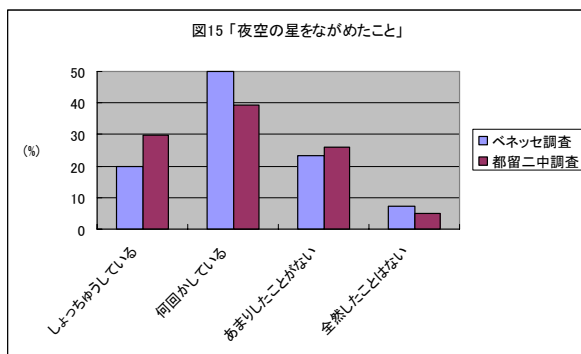
			Q9-3(外出目的:ショッピング)		合計
			印なし	印あり	
市内の買い物施設に対する満足度(2分割)	満足	度数 市内の買い物施設に対する満足度(2分割)の %	28 30.8%	63 69.2%	91 100.0%
	不満	度数 市内の買い物施設に対する満足度(2分割)の %	10 15.6%	54 84.4%	64 100.0%
合計			38 24.5%	117 75.5%	155 100.0%

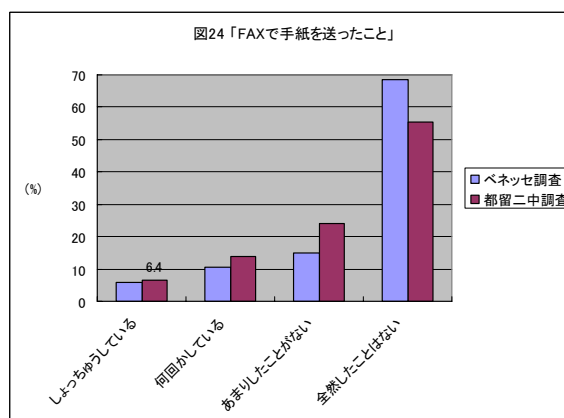
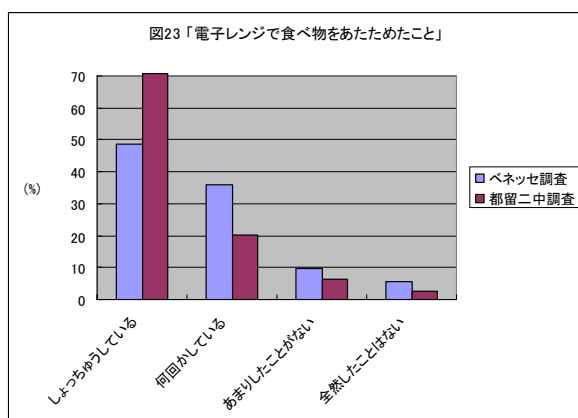
上のクロス表では、Q6 への回答のうち、「満足」「やや満足」を合計して「満足」とし、「やや不満」「不満」を合計して「不満」とした。これによると、市内の買い物施設に不満を持っている人 64 人のうちの 84.4%は、やはり市外にショッピングに出かけている。しかし、市内の買い物施設に満足している人（91 人）でも、そのうち 69.2%が市外にショッピングに出かけていることがわかった。つまり、市内の買い物施設に満足でも不満でも、市外へのショッピングには出かけているということだ。ただし、その比率は、やはり、市内の買い物施設に不満を感じている人のほうが高い。

生活体験・家事体験

Q12 では「あなたは次のようなことをしたことがありますか」の質問文により、12 項目の生活体験・家事体験について、「しょっちゅうしている」「何回かしている」「あまりしたことがない」「全然したことはない」の 4 選択肢によって質問している。これらの回答結果をベネッセ調査のデータと比較しながら集計してみると、次の図 13～24 のように示される。



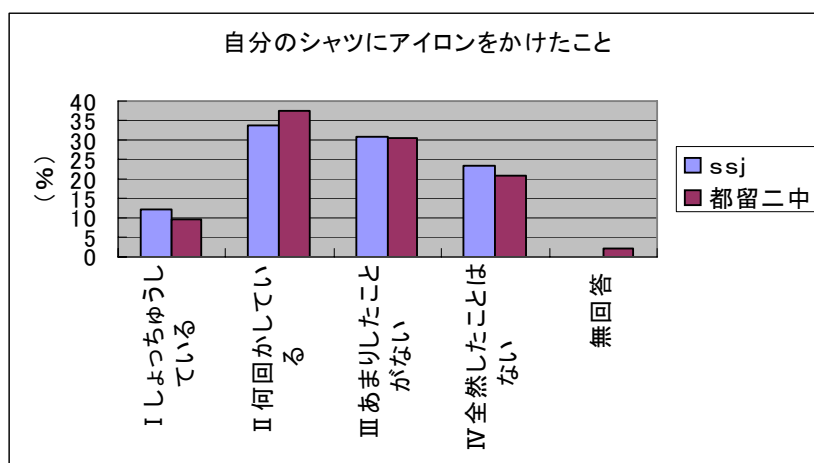




次の表は、Q12-8「自分のシャツにアイロンをかけたこと」の単純集計結果である。

	度数	パーセント	有効パーセント
1しよっちゅうしている	15	9.5	9.7
2何回かしている	59	37.3	38.1
3あんまりしたことがない	48	30.4	31.0
4全然したことはない	33	20.9	21.3
無回答	3	1.9	
総計	158	100	100

「何回かしている」が、38.1 %で最も多い。いっぽう、約4分の1の21.3 %の生徒が「全然したことがない」と回答している。この結果をベネッセ調査のデータと比較したものが次の表である。

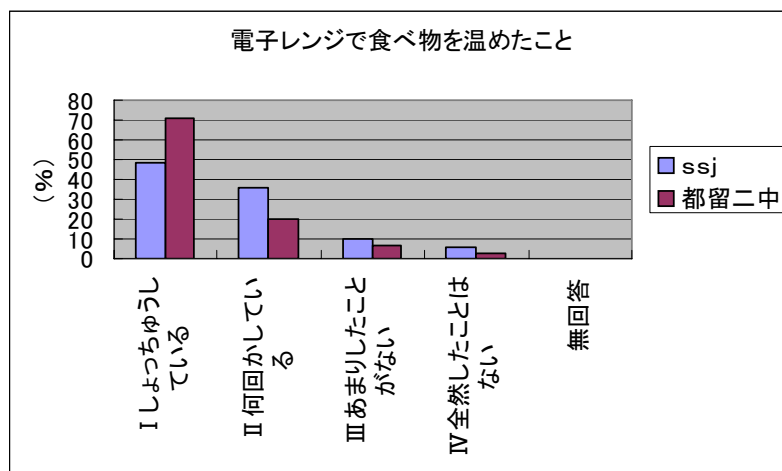


比率のうちわけに多少、差はあるが、「何回かしている」が最も多く、ついで「あんまりしたことがない」が多く、3番目に「全然したことがない」で、「しよっちゅうしている」の比率が最も少ないという点で両者はほぼ同様の傾向を示している。

次に、Q12-11「電子レンジで食べ物をあたためたこと」の単純集計結果をみてみよう。

	度数	パーセント	有効パーセント
1しょっちゅうしている	112	70.9	44.9
2何回かしている	32	20.3	20.3
3あまりしたことがない	10	6.3	6.3
4全然したことがない	4	2.5	2.5
総計	158	100	100

「しょっちゅうしている」が 70.9 %でもっとも多く、「何回かしている」が 20.3 %でこれに次ぐ。両者を合計すると 91.2 %におよぶ。「電子レンジで食べ物をあたためる」経験は、大学生であるわれわれ筆者らにとっては、日常的な家事のひとつのように感じられることであるが、中学生たちの回答結果をみても、やはり、大多数の人がこの経験をもっていることがわかった。この結果をベネッセ調査のデータと比較してみよう。



「しょっちゅうしている」の比率は、ベネッセ調査のデータでは 48.5 %であるのに対し、都留二中調査では 70.9 %と、都留二中データのほうが 12.4 %も上回る結果となった。また、「全然したことはない」という項目に対する比率は、ベネッセ調査のデータでは 5.7 %であるが、都留二中では半分以下の 2.5 %と、こちらも全国平均（ベネッセ調査による 1 都 4 県 6 校データ）を上回っている。

Q12 の結果を性別にみてみよう。下の表は、Q12-9「家の手伝いを進んでしたこと」と性別をクロス集計した結果である。4 つの選択肢への回答のうち、ここでは「しょっちゅうしている」と「何回かしている」を合計して「したことがある」とし、「あまりしたことがない」と「全然したことはない」を合計して「したことがない」として、2つのカテゴリーに集約している。

「家の手伝いを進んでしたことがある」と性別のクロス表

			「家の手伝いを進んでしたこと」(2分割)		合計
			したことがある	したことがない	
性別	女	度数	61	19	80
		性別の %	76.3%	23.8%	100.0%
	男	度数	55	21	76
		性別の %	72.4%	27.6%	100.0%
合計		度数	116	40	156
		性別の %	74.4%	25.6%	100.0%

「(家の手伝いを進んで) したことがある」の回答比率は女子のほうが男子より高いと予想していたが、その差は 3.9 ポイントとわずかであり、予想に反して男女ともにほぼ同水準を示す結果となった。家の手伝いを「進んでする」ということがどの程度までをいうのか、回答者の解釈に委ねられるところであるが、男女ともに 70 %台と高い比率である。

次に、アイロンがけの経験 (Q12-8) についてみてみよう。

アイロンがけの経験と性別のクロス表

			「自分のシャツにアイロンをかけたこと」(2分割)		合計
			したことがある	したことがない	
性別	女	度数	38	42	80
		性別の %	47.5%	52.5%	100.0%
	男	度数	36	39	75
		性別の %	48.0%	52.0%	100.0%
合計		度数	74	81	155
		性別の %	47.7%	52.3%	100.0%

家の手伝いと同じように、女子のほうがアイロンがけをしたことがある経験の比率が高いと予想していたが、男子 48.0 %、女子 47.5 %と、むしろ男子の方がわずかに高いほどである。

表 5 は Q12-7 「お米をといでご飯を炊いたこと」と Q14 「性別」 のクロス集計表である。

表 5 「お米をといでご飯を炊いた経験」と「性別」のクロス表

	Q12-7						
Q14	したことがある		したことがない		無回答		総計
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	
女	56	69,1	25	30,9		0,0	81
男	62	80,5	14	18,2	1	1,3	77
総計	118	74,7	39	24,7	1	0,6	158

男子生徒の約 8 割がお米を炊いてご飯を炊いたことがあるという結果が得られた。いっぽう、女子生徒のその割合は 69.1%と 7 割を下回った。全体的にもっと高い比率ではないか、そして、女子生徒のほうがその数字は上回るのではないかと予想していたのだが、それに反する結果であった。Q12-7 の結果を、きょうだいの数 (Q16) とクロス集計してみよう。下の表はその結果である。

表 4 きょうだいの数と米とぎの経験のクロス表

	Q12-7						
Q16	したことがある		したことはない		無回答		総計
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	
1人っ子	9	90.0	1	10.0			10
2人きょうだい	54	75.0	17	23.6	1	1.4	72
3人きょうだい以上	55	72.4	21	27.6			76
総計	118	74.7	39	24.7	1	0.6	158

米とぎ・炊飯を経験したことがあると答えた人は、「1人っ子」では90.0%、「2人きょうだい」で75.0%、「3人きょうだい以上」で72.4%と、きょうだいの数が少ないほうが比率は高いという結果だった。筆者のイメージとしては、きょうだいがいる人のほうが米とぎを含めた家の手伝いをしているものだと思っていたが、結果は予想に反して1人っ子が90.0%と最も高い比率となった。1人っ子のほうが、自分以外にやる人がいないのでこのような結果になったのではないだろうか。

表4はQ12-5「取っ組み合いのけんかをしたことがある」とQ14「性別」のクロス表である。

表4 「取っ組み合いのけんかをした経験」と「性別」のクロス表

	Q12-5						
Q14	している		したことがない		無回答		総計
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	
女	33	40,7	47	58,0	1	1,2	81
男	23	29,9	53	68,8	1	1,3	77
総計	56	35.4	100	63.3	2	1.3	158

女子で取っ組み合いのけんかをしたことがあると答えたのは40.7%であるのに対し、男子は29.9%となった。これもまた、かなり意外な結果であった。女子のほうが好戦的なのだろうか。全体的にみて、取っ組み合いのけんかをした経験が少ないということも時代を思わせる。

次に、祖父母との同居の有無（Q17）とお年寄り（や障害者）の世話の経験の有無（Q17-6）についてクロス集計してみよう。以下の表はその結果である。

表3 祖父母との同居の有無とお年寄りのお世話の経験のクロス表

Q12-6							
Q17	したことがある		したことがない		無回答		総計
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	
祖父母と同居	48	42.5	64	56.6	1	0.9	113
祖父母と別居	12	26.7	31	68.9	2	4.4	45
総計	60	38.0	95	60.1	3	1.9	158

世話を経験したことがある人は、祖父母と同居している人で42.5%、同居していない人では26.7%だった。やはり結果は予想したように、祖父母と同居している（またはその経験がある）人のほうが、お年寄りの世話をしたことがある比率が高かった。また、全体をみると、祖父母と同居している人は158人中113人（71.5%）とかなり多い。これは、高齢化社会の現状をあらわしているのではないか。これからますます高齢化が進んでいくと、世話をしたことがある人の比率が高くなるのではないか。同じ質問を何年後かに実施すれば、世話をしたことがある人の比率はさらに高くなるだろうと予想される。

次に、中学生たちの、自然環境に関する生活経験について考えてみたい。筆者が都留にはじめて来たとき、とても自然がたくさんあっていいなと思ったことを覚えている。筆者の友人に木の実などに

精通した人がいるが、彼と山に入ると一つひとつ説明してくれ、筆者自身も食べられるものはいろいろ食べてみた。はたして都留の中学生はこのような自然とのふれあいを体験しているのだろうか。そして、この豊富な自然に対してどのようなイメージをもっているのだろうか。

表1は、Q3「あなたの住んでいる『まち』はどんなところですか」の小問「①自然がたくさんある」(Q3-1)と、Q12「あなたは次のようなことをしたことがありますか」の小問「①川や海で魚をとったり、木になっている果物をとったこと」(Q12-1)のクロス集計表である。ここでは、Q3-1の4選択肢のうち、「とてもそう」と「わりとそう」の回答を合計して「そう思う」とし、「あまりそうでない」と「全然そうでない」の回答を合計して「そう思わない」として集計した。また、Q12の各設問についても、4つの選択肢への回答のうち、「しょっちゅうしている」と「何回かしている」を合計して「したことがある」とし、「あまりしたことがない」と「全然したことはない」を合計して「していない／したことがない」として、2つのカテゴリーに集約している。

表1 「自然がたくさんある」と「川や海などで魚をとった経験がある」のクロス表

	Q12-1						
Q3-1	している		していない		無回答		総計
	度数	比率	度数	比率	度数	比率	
そう思う	62	41.6	86	57.7	1	0.7	149
そう思わない	3	33.3	6	66.7		0.0	9
総計	65	41.1	92	58.2	1	0.6	158

まず、全体をみると、都留には「自然がたくさんある」に対して「そう思う」と回答した人が、158名中149名と9割以上に達している（「とてもそう」「わりとそう」の合計で94.3%）。そしてやはり、自然がたくさんあると考えている人のほうが、「川や海で魚をとったり、木になっている果物をとったりしたことがある」比率が高いことがわかる。しかし、その数値は41.6%と4割強にとどまる。都留には自然がたくさんあると考えている生徒自体は圧倒的多数を占めているのだが、それが、魚や果物をとるなどの自然に直接ふれる経験には必ずしも結びつかないようだ。

表2は、Q3-1「自然がたくさんある」とQ12-2「はだしで田んぼの中を歩いたこと」のクロス集計表である。

表2 「自然がたくさんある」と「はだしで田んぼを歩いた経験」のクロス表

	Q12-2				
Q3-1	している		したことがない		総計
	度数	比率	度数	比率	
そう思う	61	40.9	88	59.1	149
そう思わない	4	44.4	5	55.6	9
総計	65	41.1	93	58.9	158

これも表1のクロス集計と同じような結果になった。「自然がたくさんある」の設問に「そう思う」と答えた生徒のなかで、「はだしで田んぼの中を歩いたことがある」と答えたのは40.9%である。筆者個人の経験としては田んぼをはだしで歩いたことがないため、この40.9%という比率は意外に高いという印象を受けた。

表3は、Q3-1「自然がたくさんある」とQ12-3「夜空の星を眺めたこと」のクロス集計表である。

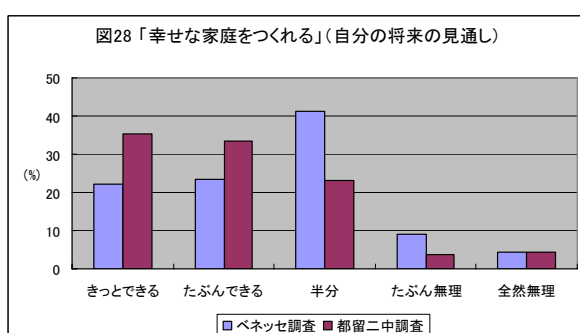
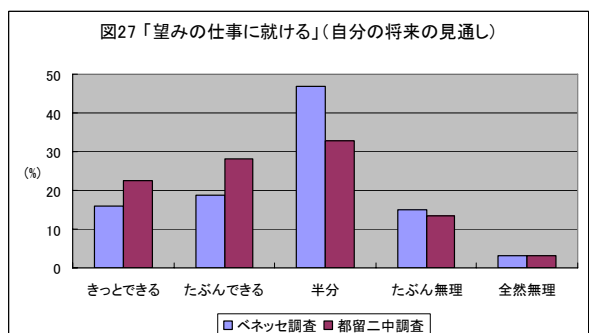
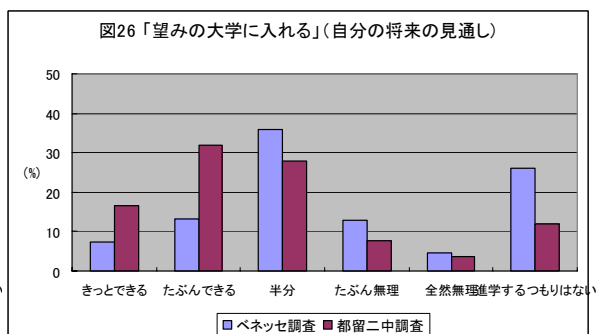
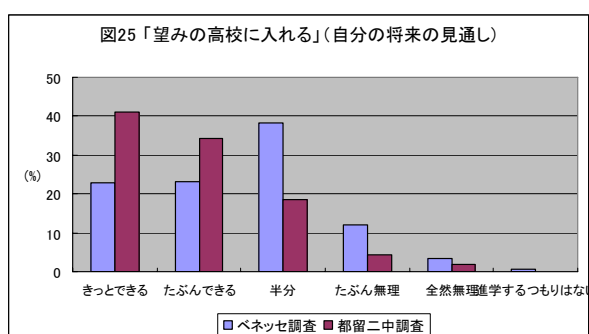
表3 「自然がたくさんある」と「夜空の星を眺めた経験」のクロス表

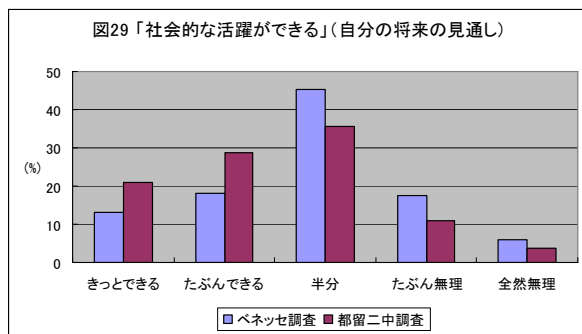
	Q12-3				
Q3-1	している		したことがない		総計
	度数	比率	度数	比率	
そう思う	103	69,1	46	30,9	149
そう思わない	6	66,7	3	33,3	9
総計	109	69,0	49	31,0	158

先の2つの結果とは異なり、自然がたくさんあると考えている生徒のうち、夜空の星を眺めたことがあると答えたのは 69.1%と高い比率になった。星を眺めるというのは、自然にふれあう体験のなかでも容易な行動であるので高い比率となったのであろう。他県から来た文大生のあいだでも、しばしば「都留の星空は美しい」という声が聞かれる。

将来についての見通し

Q13 では、「あなたは自分の将来についてどんな見通しをもっていますか」の質問文により、5つの項目について、「きっとできる」「たぶんできる」「半分」「たぶん無理」「全然無理」の4選択肢で尋ねている。これらの回答結果をベネッセ調査のデータと比較しながら集計してみると、次の図 25～29 のように示される。





これらの結果を見ると、都留二中の中学生たちは、ベネッセ調査の1都4県6校の対象者に対して、総じて、将来について楽観的な見通しをもっていると結論づけることができる。

15.5 調査票と単純集計結果

【調査票】

2005年2月3日

都留市内中学生の生活意識と街イメージに関する調査

都留文科大学社会学科「社会調査・地域調査B」
「人・夢・子ども」班 メンバー一同

【調査ご協力をお願い】

私たちは都留文科大学で社会学を専攻している大学生です。この調査は、社会調査実習科目「社会調査・地域調査」の実習の一環として、学術的な目的により行われるものです。貴重なお時間のところ恐縮ですが、ぜひともこのアンケート調査にご協力をいただきたく、お願いいたします。なお、回答していただくことによって皆さんにご迷惑をおかけすることのないよう固くお約束します。また、各設問へのお答えはすべて数値データに置き換え、個人を特定できないかたちで統計処理いたします。この調査について質問がありましたら下記までご連絡ください。

都留文科大学社会学科 「社会調査・地域調査B」 「人・夢・子ども」班

越賀貴子（こしが たかこ：学生代表 ***-***-***），齋藤峻介，佐藤秀幸，佐藤麻衣子，清水健志，志茂龍太

授業担当者：社会学科非常勤講師 榎本 環（えのもと たまき） 電話：***-***-*** / ***-***-***

授業ホームページ URL: http://homepage3.nifty.com/t_enomoto/tsuru/

【ご記入にあたってのお願い】

- ・ 以下の質問を読んで、あてはまる選択肢の番号に○をつけてください。
- ・ 特に指定がある場合を除いて、答えは1つだけ選んでください。
- ・ Q15については、（ ）の中に数字を書き込んでください。

Q1: あなたは都留のまちが好きですか、それとも、あまり好きではありませんか。

1. 好きだ 2. あまり好きではない

Q2: あなたは、できることなら将来も都留市に住みたいですか。

1. はい 2. いいえ

Q3: あなたの住んでいる「まち」はどんなところですか。①～⑩の各項目について、それぞれあてはまるものに1つずつ○をつけてください。

1. とてもそう	2. わりとそう	3. あまりそうでない	4. 全然そうでない
----------	----------	-------------	------------

↓

- | | | | | |
|---------------------|----|----|----|----|
| ① 自然がたくさんある。 | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ② お祭りなどの伝統的な行事が盛んだ。 | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ③ 親切な人がたくさんいる。 | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ④ みんな忙しそうにしている。 | 1. | 2. | 3. | 4. |

- | | | | | |
|------------------------------|----|----|----|----|
| ⑤ 楽しい場所がたくさんある。 | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ⑥ 新しいものがすぐ入ってくる。 | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ⑦ 近所の人に会ったらあいさつする。 | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ⑧ 近所の人にはあなたのことをよく知っている。 | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ⑨ あなたは近所の人のことをよく知っている。 | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ⑩ 困ったときは近所の人から助けられると思う。 | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ⑪ 悪いことをしたら、きっと近所の人から叱られるだろう。 | 1. | 2. | 3. | 4. |

Q4: あなたは都留市内の交通の便（電車やバスなどの公共交通機関）に、どの程度満足していますか。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

Q5: あなたは都留市内の医療施設に、どの程度満足していますか。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

Q6: あなたは都都市内の買い物施設（商店、スーパー、コンビニエンス・ストアなど）に、どの程度満足していますか。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

Q7: あなたは都都市内のスポーツ施設（学校のグラウンドや体育館、楽山球場、市民体育館など）に、どの程度満足していますか。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

Q8: あなたは、市外に出かける機会はどれくらいありますか。(1つだけ選択)

1. ほとんど毎日ある 2. 2, 3日に1回はある 3. 週に1回はある
4. 月に1回はある 5. めったにない

Q9: その目的は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 塾・習い事 2. 部活の練習試合 3. ショッピング 4. ゲームセンター
5. 友人に会うため 6. 親戚に会うため 7. その他（ ）

Q10: あなたは、大都市のにぎやかな場所に行く機会はどれくらいありますか。(1つだけ選択)

1. ほとんど毎日ある 2. 2, 3日に1回はある 3. 週に1回はある
4. 月に1回はある 5. めったにない

Q11: あなたは、どちらかを選べるとしたら、都留市のような街と東京のような大都市では、どちらに住みたいですか。(1つだけ選択)

1. 都留市のような街 2. 東京のような大都市 3. わからない

(裏面に続く)

Q12: あなたは次のようなことをしたことがありますか。①～⑫の各項目について、それぞれあてはまるものに1つずつ○をつけてください。

1. しょっちゅうしている 2. 何回かしている 3. あまりしたことがない 4. 全然したことはない

↓

- | | | | | |
|------------------------------|----|----|----|----|
| ① 川や海で魚をとったり、木になっている果物をとったこと | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ② はだして田んぼの中を歩いたこと | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ③ 夜空の星をながめたこと | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ④ 赤ちゃんを抱っこしたこと | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ⑤ 取っ組み合いのケンカをしたこと | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ⑥ お年寄りや身体の不自由な人の世話をしたこと | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ⑦ お米をといでご飯をたいたこと | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ⑧ 自分のシャツにアイロンをかけたこと | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ⑨ 家の手伝いを進んでしたこと | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ⑩ ビデオで留守番録画をしたこと | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ⑪ 電子レンジで食べ物をあたためたこと | 1. | 2. | 3. | 4. |
| ⑫ FAX で手紙を送ったこと | 1. | 2. | 3. | 4. |

Q13: あなたは自分の将来についてどんな見通しをもっていますか。①～⑤の各項目について、それぞれあてはまるものに1つずつ○をつけてください。

1. きっとできる 2. たぶんできる 3. 半分 4. たぶん無理 5. ぜんぜん無理 6. 進学するつもりはない

↓

- | | | | | | | |
|--------------|----|----|----|----|----|----|
| ① 望みの高校に入れる | 1. | 2. | 3. | 4. | 5. | 6. |
| ② 望みの大学に入れる | 1. | 2. | 3. | 4. | 5. | 6. |
| ③ 望みの仕事に就ける | 1. | 2. | 3. | 4. | 5. | |
| ④ 幸せな家庭をつくれる | 1. | 2. | 3. | 4. | 5. | |
| ⑤ 社会的な活躍ができる | 1. | 2. | 3. | 4. | 5. | |

最後に、あなた自身についてお聞きます。

Q14: 性別をお答えください。 1. 男 2. 女

Q15: 都留市内に何年住んでいますか。

() 年 * 「生まれてからずっと」の場合は年齢を記入してください。

Q16: あなたは、何人きょうだいですか。

1. 1人つき 2. 2人きょうだい 3. 3人きょうだい以上

Q17: これまで、おじい様・おばあ様（またはそのどちらかの方）と同じ敷地内で生活した経験がありますか。
（現在一緒に住んでいる方も含めます）

1. はい 2. いいえ

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

単純集計結果

Q1 あなたは都留のまちが好きですか、それともあまり好きではありませんか。

1. 好きだ 2. あまり好きではない

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 好き	126	79.7	79.7
2. あまり好きではない	32	20.3	20.3
総計	158	100.0	100.0

Q2 あなたは、できることなら将来も都留市に住みたいですか。

1. はい 2. いいえ

	度数	パーセント	有効パーセント
1. はい	57	36.1	36.8
2. いいえ	98	62.0	63.2
無回答	3	1.9	100.0
総計	158	100.0	

Q3 あなたの住んでいる「まち」はどんなところですか。①～⑩の各項目について、それぞれあてはまるものに1つずつ○をつけてください。

1. とてもそう 2. わりとそう 3. あまりそうでない 4. 全然そうでない

①自然がたくさんある。

	度数	パーセント	有効パーセント
1. とてもそう	85	53.8	53.8
2. わりとそう	64	40.5	40.5
3. あまりそうではない	8	5.1	5.1
4. 全然そうではない	1	0.6	0.6
総計	158	100	100

②お祭りなどの伝統的な行事が盛んだ。

	度数	パーセント	有効パーセント
1. とてもそう	60	38.0	38.0
2. わりとそう	71	44.9	44.9
3. あまりそうでない	24	15.2	15.2
4. 全然そうでない	3	1.9	1.9
総計	158	100.0	100.0

③親切ながたくさんいる。

	度数	パーセント	有効パーセント
1. とてもそう	44	27.8	27.8
2. わりとそう	79	50.0	50.0
3. あまりそうではない	30	19.0	19.0
4. 全然そうではない	5	3.2	3.2
総計	158	100.0	100.0

④みんな忙しそうにしている。

	度数	パーセント	有効パーセント
1. とてもそう	7	4.4	4.5
2. わりとそう	48	30.4	30.6
3. あまりそうでない	83	52.5	52.9
4. 全然そうではない	19	12.0	12.1
無回答	1	0.6	100.0
総計	158	100.0	

⑤楽しい場所がたくさんある。

	度数	パーセント	有効パーセント
1. とてもそう	16	10.1	10.1
2. わりとそう	45	28.5	28.5
3. あまりそうでない	69	43.7	43.7
4. 全然そうでない	28	17.7	17.7
総計	158	100	100

⑥新しいものがすぐ入ってくる。

	度数	パーセント	有効パーセント
1. とてもそう	5	3.2	3.2
2. わりとそう	25	15.8	15.8
3. あまりそうでない	80	50.6	50.6
4. 全然そうでない	48	30.4	30.4
総計	158	100.0	100.0

⑦近所の人に会ったらあいさつする。

	度数	パーセント	有効パーセント
1. とてもそう	51	32.3	32.3
2. わりとそう	69	43.7	43.7
3. あまりそうでない	28	17.7	17.7
4. 全然そうでない	10	6.3	6.3
総計	158	100.0	100.0

⑧近所の人にはあなたのことをよく知っている。

	度数	パーセント	有効パーセント
1. とてもそう	40	25.3	25.3
2. わりとそう	56	35.4	35.4
3. あまりそうでない	52	32.9	32.9
4. 全然そうでない	10	6.3	6.3
総計	158	100.0	100.0

⑨あなたは近所の人のことをよく知っている。

	度数	パーセント	有効パーセント
1. とてもそう	37	23.4	23.4
2. わりとそう	49	31.0	31.0
3. あまりそうでない	54	34.2	34.2
4. 全然そうでない	18	11.4	11.4
総計	158	100.0	100.0

⑩困ったときは近所の人が助けてくれると思う。

	度数	パーセント	有効パーセント
1. とてもそう	37	23.4	23.4
2. わりとそう	68	43.0	43.0
3. あまりそうでない	42	26.6	26.6
4. 全然そうでない	11	7.0	7.0
総計	158	100.0	100.0

⑪悪いことをしたら、きっと近所の人から叱られるだろう。

	度数	パーセント	有効パーセント
1. とてもそう	22	13.9	13.9
2. わりとそう	44	27.8	27.8
3. あまりそうでない	60	38.0	38.0
4. 全然そうでない	32	20.3	20.3
総計	158	100.0	100.0

Q 4 あなたは都留市内の交通の便(電車やバスなどの公共交通機関)に、どの程度満足していますか。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 満足	13	8.2	8.2
2. やや満足	51	32.3	32.3
3. やや不満	54	34.2	34.2
4. 不満	40	25.3	25.3
総計	158	100.0	100.0

Q 5 あなたは都留市内の医療施設に、どの程度満足していますか。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 満足	28	17.7	17.7
2. やや満足	71	44.9	44.9
3. やや不満	45	28.5	28.5
4. 不満	14	8.9	8.9
総計	158	100.0	100.0

Q 6 あなたは都留市内の買い物施設(商店、スーパー、コンビニエンス・ストアなど)に、どの程度満足していますか。

1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 満足	34	21.5	21.5
2. やや満足	60	38.0	38.0
3. やや不満	45	28.5	28.5
4. 不満	19	12.0	12.0
総計	158	100.0	100.0

Q7 あなたは都留市内のスポーツ施設(学校のグラウンドや体育館、楽山球場、市民体育館など)に、どの程度満足していますか。 1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 満足	23	14.6	14.6
2. やや満足	62	39.2	39.2
3. やや不満	49	31.0	31.0
4. 不満	24	15.2	15.2
総計	158	100.0	100.0

Q8 あなたは、市外に出かける機会はどれくらいありますか。(1つだけ選択)

1. ほとんど毎日ある 2. 2,3日に1回はある 3. 週に1回はある 4. 月に1回はある 5. めったにない

	集計	パーセント	有効パーセント
1. ほとんど毎日	3	1.9	1.9
2. 2,3日に1回	22	13.9	13.9
3. 週に1回	86	54.4	54.4
4. 月に1回	37	23.4	23.4
5. めったにない	10	6.3	6.3
総計	158	100.0	100.0

Q9 その目的は何ですか。当てはまるものすべてに○をつけてください。

1. 塾・習い事 2. 部活の練習試合 3. ショッピング 4. ゲームセンター
5. 友人に会うため 6. 親戚に会うため 7. その他()

表 Q9 市外に出かける目的(すべて選択)

	度数	パーセント	ケースのパーセント
塾・習い事	18	6.4	11.6
部活の練習試合	47	16.7	30.3
ショッピング	117	41.6	75.5
ゲームセンター	21	7.5	13.5
友人に会うため	19	6.8	12.3
親戚に会うため	43	15.3	27.7
その他	16	5.7	10.3
合計	281	100.0	

「7. その他」の自由回答

- ・病院、通院…4人 ・遊びに行く…3人 ・DVD、CD レンタル ・趣味 ・食事
・歯医者 ・YLO(都留市文化会館)に行き勉強 ・いろいろ

Q10 あなたは、大都市のにぎやかな場所に行く機会はどれくらいありますか。(1つだけ選択)

1. ほとんど毎日ある 2. 2,3日に1回はある 3. 週に1回はある 4. 月に1回はある 5. めったにない

Q10: 大都市に出かける頻度

	合計	パーセント	有効パーセント
1. ほとんど毎日ある	0	0.0	0.0
2. 2,3日に1回はある	3	1.9	1.9
3. 週に1回はある	14	8.9	8.9
4. 月に1回はある	68	43.0	43.0
5. めったにない	73	46.2	46.2
総計	158		100.0

Q11 あなたは、どちらかを選べるとしたら、都留市のような街と東京のような大都市では、どちらに住みたいですか。

(1つだけ選択) 1. 都留市のような街 2. 東京のような大都市 3. わからない

Q11: どちらに住みたいか			
	合計	パーセント	有効パーセント
1. 都留市のような街	66	41.8	41.8
2. 東京のような大都市	55	34.8	34.8
3. わからない	37	23.4	23.4
総計	158		100

Q12 あなたは次のようなことをしたことがありますか。①～⑫の各項目について、それぞれあてはまるものに1つずつ○をつけてください。

1. しょっちゅうしている 2. 何回かしている 3. あまりしたことがない 4. 全然したことはない

① 川や海で魚をとったり、木になっている果物をとったこと

	度数	パーセント	有効パーセント
1しょっちゅうしている	8	5.1	5.1
2何回かしている	57	36.1	36.3
3あまりしたことがない	48	30.4	30.6
4全然したことはない	44	27.8	28.0
無回答	1	0.6	
総計	158	100	100

② はだして田んぼの中を歩いたこと

	度数	パーセント	有効パーセント
1しょっちゅうしている	10	6.3	6.3
2何回かしている	55	34.8	34.8
3あまりしたことがない	56	35.4	35.4
4全然したことがない	37	23.4	23.4
総計	158	100	100

③ 夜空の星をながめたこと

	度数	パーセント	有効パーセント
1しょっちゅうしている	47	29.7	29.7
2何回かしている	62	39.2	39.2
3あまりしたことがない	41	25.9	25.9
4全然したことはない	8	5.1	5.1
総計	158	100	100

④ 赤ちゃんを抱っこしたこと

	度数	パーセント	有効パーセント
1しょっちゅうしている	21	13.3	13.4
2何回かしている	70	44.3	44.6
3あまりしたことがない	41	25.9	26.1
4全然したことがない	25	15.8	15.9
無回答	1	0.6	
総計	158	100	100

⑤ 取っ組み合いのケンカをしたこと

	度数	パーセント	有効パーセント
1しょっちゅうしている	11	7.0	7.0
2何回かしている	45	28.5	28.7
3あまりしたことがない	50	31.6	31.8
4全然したことはない	50	31.6	31.8
無回答	2	1.3	
総計	158	100	100

⑥ お年寄りや身体の不自由な人の世話をしたこと

	度数	パーセント	有効パーセント
1しょっちゅうしている	14	8.9	8.9
2何回かしている	46	29.1	29.3
3あまりしたことがない	56	35.4	35.7
4全然したことはない	39	24.7	24.8
無回答	3	1.9	
総計	158	100	100

⑦ お米をといでご飯をたいたこと

	度数	パーセント	有効パーセント
1しょっちゅうしている	47	29.7	29.9
2何回かしている	71	44.9	45.2
3あまりしたことがない	25	15.8	15.9
4全然したことはない	14	8.9	8.9
無回答	1	0.6	
総計	158	100	100

⑧ 自分のシャツにアイロンをかけたこと

	度数	パーセント	有効パーセント
1しょっちゅうしている	15	9.5	9.7
2何回かしている	59	37.3	38.1
3あんまりしたことがない	48	30.4	31.0
4全然したことはない	33	20.9	21.3
無回答	3	1.9	
総計	158	100	100

⑨ 家の手伝いを進んでしたこと

	度数	パーセント	有効パーセント
1しょっちゅうしている	44	27.8	28.2
2何回かしている	72	45.6	46.2
3あんまりしたことはない	28	17.7	17.9
4全然したことがない	12	7.6	7.7
無回答	2	1.3	
総計	158	100	100

⑩ ビデオで留守番録画をしたこと

	度数	パーセント	有効パーセント
1しょっちゅうしている	57	36.1	36.3
2何回かしている	32	20.3	20.4
3あまりしたことはない	27	17.1	17.2
4全然したことがない	41	25.9	26.1
無回答	1	0.6	
総計	158	100	100

⑪ 電子レンジで食べ物をあたためたこと

	度数	パーセント	有効パーセント
1しょっちゅうしている	112	70.9	44.9
2何回かしている	32	20.3	20.3
3あまりしたことがない	10	6.3	6.3
4全然したことがない	4	2.5	2.5
総計	158	100	100

⑫ FAX で手紙を送ったこと

	度数	パーセント	有効パーセント
1しょっちゅうしている	10	6.3	6.4
2何回かしている	22	13.9	14.0
3あんまりしたことはない	38	24.1	24.2
4全然したことがない	87	55.1	55.4
無回答	1	0.6	
総計	158	100	100

Q13 あなたは自分の将来についてどんな見通しをもっていますか。①～⑤の各項目について、それぞれあてはまるものに1つずつ○をつけてください。

1. きっとできる 2. たぶんできる 3. 半分 4. たぶん無理 5. ぜんぜん無理 6. 進学するつもりはない

① 望みの高校に入れる

	度数	パーセント	有効パーセント
1. きっとできる	65	41.1	41.1
2. たぶんできる	54	34.2	34.2
3. 半分	29	18.4	18.4
4. たぶん無理	7	4.4	4.4
5. ぜんぜん無理	3	1.9	1.9
総計	158	100	100

② 望みの大学に入れる

	度数	パーセント	有効パーセント
1. きっとできる	26	16.5	16.6
2. たぶんできる	50	31.6	31.8
3. 半分	44	27.8	28.0
4. たぶん無理	12	7.6	7.6
5. ぜんぜん無理	6	3.8	3.8
6. 進学するつもりはない	19	12.0	12.1
無回答	1	0.6	100.0
総計	158	100	

③ 望みの仕事に就ける

	度数	パーセント	有効パーセント
1. きっとできる	35	22.2	22.4
2. たぶんできる	44	27.8	28.2
3. 半分	51	32.3	32.7
4. たぶん無理	21	13.3	13.5
5. ぜんぜん無理	5	3.2	3.2
無回答	2	1.3	100.0
総計	158	100	

④ 幸せな家庭をつくれる

	度数	パーセント	有効パーセント
1. きっとできる	55	34.8	35.3
2. たぶんできる	52	32.9	33.3
3. 半分	36	22.8	23.1
4. たぶん無理	6	3.8	3.8
5. 全然無理	7	4.4	4.5
無回答	2	1.3	
総計	158	100.0	

⑤ 社会的な活躍ができる

	度数	パーセント	有効パーセント
1. きっとできる	33	20.9	21.0
2. たぶんできる	45	28.5	28.7
3. 半分	56	35.4	35.7
4. たぶん無理	17	10.8	10.8
5. 全然無理	6	3.8	3.8
無回答	1	0.6	
総計	158	100.0	

Q14 性別をお答えください。

1. 男

2. 女

	度数	パーセント	有効パーセント
1. 男	81	51.3	51.3
2. 女	77	48.7	48.7
総計	158	100.0	100.0

Q15 都留市内に何年住んでいますか。

() 年 * 「生まれてからずっと」の場合は年齢を記入してください。

	度数	パーセント	有効パーセント
1年	1	0.6	0.6
2年	1	0.6	0.6
4年	1	0.6	0.6
5年	1	0.6	0.6
6年	2	1.3	1.3
8年	3	1.9	1.9
9年	3	1.9	1.9
10年	4	2.5	2.6
11年	3	1.9	1.9
12年	2	1.3	1.3
13年	15	9.5	9.6
14年	117	74.1	75.0
15年	3	1.9	1.9
無回答	2	1.3	100.0
総計	158	100	

Q16 あなたは、何人きょうだいですか。

1. 1人っ子 2. 2人きょうだい 3. 3人きょうだい以上

	度数	パーセント	有効パーセント
1人っ子	10	6.3	6.3
2人きょうだい	72	45.6	45.6
3人きょうだい以上	76	48.1	48.1
総計	158	100.0	100.0

Q17: これまで、おじい様・おばあ様（またはそのどちらかの方）と同じ敷地内で生活した経験がありますか。（現在一緒に住んでいる方も含めます）

1. はい 2. いいえ

	度数	パーセント	有効パーセント
1. はい	113	71.5	71.5
2. いいえ	45	28.5	28.5
総計	158	100.0	100.0

参考文献・資料

ベネッセ教育研究所編, 1998, 『モノグラフ・中学生の世界 vol.60 都市の中学生・山村の中学生 —— 地域差や学校差を考える』 株式会社ベネッセコーポレーション
 東京大学社会科学研究所「SSJ データアーカイブ」ホームページ (<http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/>, 2005 年 6 月 19 日)